

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	通園みらい		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 16日		～ 令和7年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	令和7年 12月 19日		～ 令和7年 12月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員が、定数より多いこと。 ・国の基準では、こども4人に対して保育士等が1人求められるが、現状は保育士5人、児童指導員8人、指導員3人を配置している。	・職員の数を増やすことによって、子どもひとり一人に目が届くとともに、安全に保育することができる。 ・職員の資質の向上と意識改革。	・職員の資質向上のため、外部研修や内部研修の機会を増やしている。
2	・自園で給食調理をしているので、毎日温かい給食を提供できている。 ・子どもたちの食事の様子から、健康状況や偏食などを把握できる。	・管理栄養士さんに給食メニューを作成してもらっている。子どもたちの様子や前月の給食状況を考慮しながら、メニューを考えてくれる。	・給食状況を栄養士さんに伝え、そのことを踏まえながら、栄養に配慮してメニューを考えてもらっている。
3	・療育に関する専門的な知識を持つ職員の配置をしている。	・専門的な知識の習得のため、積極的に研修等に参加している。	・研修を受けてきた職員は、職場内で伝達研修も行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・事業所の立地場所が、自然災害に対して弱い。	・地震津波をはじめとする自然災害に対して、子どもたちが安心・安全な生活ができる場所に移転したいと考えている。	・移転できる土地の確保・資金の確保が大きな課題である。 ・既存する施設の利用も考えているが、今のところ条件に当てはまる場所がない。 ・災害に対して冷静に対応できるよう、毎月いろいろな想定を考えて防災訓練を実施している。
2	・建物が古いということもあり、設備の老朽化は否めない。	・修繕できる場所は、できるだけやっているが予算のこともあるので、すべてを行うことができない。	・修繕個所に、優先条件を付け優先順位の高いところから実施している。
3	・職員の専門性に関しては、まだ十分とは言えないところもある。	・職員の数が多いので、皆に専門的な知識を身につけてもらいたい。	・積極的に研修等に参加できる職場環境を整える。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	通園みらい						公表日	令和8年2月26日	
						利用児童数	令和8年2月 日 25人		
							回収数22 保護者数23		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	8	0	0	・活発な子どもが多いので、人数に対して園庭が少し狭いと感じます。	・できれば災害時にも安全安心な広い場所に移転したいと考えていますが、現状は改善することは難しいです。・園庭を広げることは出来ませんが、2階に十分な広さの遊戯室(99.44㎡)があり、そちらでも体を動かすことができます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	2	0	0	・基準よりも多く先生がいるので、安全に過ごせていると思います。安心して預けられます。	・職員数は、国の基準以上に配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	7	0	0	・そもそも、既存の建物を利用されているので、万全とは言えないところもあり仕方ないと思います。 ・玄関のドアで手を挟まないが少し心配です。	・建物全体が古いため、優先順位をつけて出来るところから改修に取り組んでいます。 ・玄関ドアについては、手を挟まないよう工夫しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	3	0	0	・建物が古いので、地震や津波の不安が大きいです。	・建物全体が古いため、優先順位をつけて出来るところから改修に取り組んでいます。少しでも、良い環境で活動できるよう工夫します。 ・地震等の災害時には近くの避難タワーに避難します。	
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	4	0	0	・親子保育以外に、もっと子どもの様子が見れる機会がほしい。 ・先生や、園のおかげで、子どもはぐんぐん成長していると感じています。 ・一人ひとり丁寧に見てくれて安心です。	・職員は保育士や児童指導員という資格を持つものが多数います。 ・研修等の機会を設け資質向上に努めています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	1	0	0		・本年度から新たに5領域を加味した支援プログラムを公表しています。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	21	1	0	0	・園での生活に関して、細部まで計画されているように思う。	・定期的に個人面談を実施したり、日頃こどもや保護者との関わりの中から課題を見つけて、支援計画に反映させています。 ・支援計画の見直しのため定期的にモニタリング会議を行っています。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21	1	0	0	・その都度、必要なことをくみ取って設定してくれています。	・ケア会議や毎日のミーティングから、どのような支援が必要か話し合っています。 ・不定期に保護者からの聞き取りを行っています。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0	0	1	・そう思います。	・ケア会議や毎日のミーティングで振り返りを行い、どのように支援するか話し合っています。 ・普段から、ペープサート、具体物等を使用して視覚的な支援を行っています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	3	0	1	・子どもたちが楽しめるように、様々なイベント(季節毎に)を行ってくださいます。	・ケア会議等で定期的に振り返りを行いマンネリ化しないよう工夫していることを保護者に伝えるようにします。 ・外遊びから入室するときに、簡単なルール遊び等を取り入れています。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	4	4	7	・全体での活動の1つとして、無理にそのような機会を設けなくてもよいのではと思います。	・コロナ前までは、御坊市内の幼稚園や保育所との交流会を行いましたが、コロナの関係で交流会が中止になり今に至っています。個人的には、希望があれば他の幼稚園や保育所と交流することは可能です。	
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	1	0	0	・一つひとつ説明してくれました。	・入所時や契約時に保護者の方に説明しています。		
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	0	0	0	・半年に1度計画を見直し、面談して説明がありました。	・定期的な個人面談等で説明しています。		

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントメンターさんからお話を聞きました。もう少し早ければ、転園等の参考にできたかと思いました。</li> <li>・もっと回数を増やしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子保育等で、保護者の方と一緒に子どもへのより良い対応を実践します。</li> <li>・保護者学習会等で情報提供も行っていきますが、回数も増やせるよう考えます。</li> </ul>
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の連絡帳に気になる事を書いて知らせてあげています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の生活の状況等について保護者と連絡帳でやり取りしています。</li> <li>・送迎で園に来られたときに、機会を見て保護者の方とお話をしています。</li> </ul>
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年に2回の定期面談をしてくれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に個人面談を実施したり、日頃から保護者からの相談に応じています。</li> </ul>
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共感的な支援をして頂いているので、なんでも話そうと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰に対しても懇切丁寧に対応するよう心がけています。</li> </ul>
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	10	3	6	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兄弟同士の交流の機会はないが、特に必要ないと思います。</li> <li>・園内で保護者交流会を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけ、保護者研修会や、懇談会を実施するようにしていますが、働いている方が増えているので、参加人数が少なくなっています。今後、いかに参加者を増やすかが課題です。</li> </ul>
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	2	0	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも要請があれば受け入れられる相談体制を整えています。又、定期的な面談や不規則な面談も実施しています。</li> </ul>
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	3	0	0		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の送迎時や、定期的に園日より等で情報を伝達したり、親子保育等でも伝えていきます。</li> <li>・毎朝出勤の確認をし、登園していない場合は9時半以降に連絡をしています。</li> </ul>
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	0	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の行事予定は、早めにプリントで配布してくれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園自体デジタル化が進んでいないのが現状です。</li> <li>・年1回ホームページ上で自己評価結果を公表しています。また、各保護者に対しては、評価結果を配布しています。</li> </ul>
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そう思います。文章でも知らせてあげています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分注意しています。保護者が参加する行事の際は、SNS等の取り扱いには細心の配慮をするようお願いしています。</li> </ul>	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	4	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルを保護者に周知、説明はされていない。所内で策定され、職員で共有出来ていれば、保護者に説明がなくてもいいのではないかと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回防災訓練を実施しています。</li> <li>・不審者に対する防犯対策は、職員のみ研修をしています。</li> <li>・マニュアルは、わかりやすい場所に提示するようにします。</li> </ul>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震、津波、火災、不審者等の防災・防犯訓練は、定期的・計画的に行われている。</li> <li>・避難タワーに避難したり、ライフジャケットを着用してプールに入ったり、家ではできないことをしてもらって安心です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回防災訓練の内容をお便りや行事予定で伝えていきます。保護者に対する引き渡し訓練も実施しています。</li> <li>・不審者に対する訓練は職員間や親子保育の時に実施しています。</li> </ul>
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの安全を確保するため、計画的に訓練等を実施している。</li> <li>・毎月防災訓練の通知があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の活動や、行事を実施するときには、子どもたちの安全を第一に考えて計画を立てています。</li> </ul>
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	3	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭、電話、連絡帳等により、軽微な事でもその都度報告してくれているのでありがたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故等が発生した場合は、速やかに保護者の方に連絡するとともに、子どもの状況を見ながら適切に対応します。</li> </ul>
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	22	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご機嫌で通所しています。</li> <li>・送迎の車が来ると嫌がらずに乗ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの子もより一層楽しくなるような取り組みを考えていきます。</li> <li>・保護者の皆さんにも、みらいに行かせて良かったと思ってもらえるよう、魅力のある園になるよう努力します。</li> </ul>
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝「行きたい」と自ら動いてくれます。</li> <li>・色々経験させてもらってありがたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの子もより一層楽しくなるような取り組みを考えていきます。</li> <li>・保護者の皆さんにも、みらいに行かせて良かったと思ってもらえるよう、魅力のある園になるよう努力します。</li> </ul>
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎はすぐ助かってます。</li> <li>・園庭にもっと遊具が楽しそう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方々のニーズに応えられるよう今後もより一層努力します。</li> </ul>

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		通園みらい					公表日	令和8年2月26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		5歳・4歳児と3歳・2歳児の2グループに分け保育を行った。部屋が狭く感じる事もあるが、机の置き方など工夫している。	人数が増えたので、もう1部屋数があればと感じた。教材や玩具の置き場スペースを確保するようにした。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員を適切に配置し、手厚く子どもを見るようにしている。効率よく仕事ができるように心がけている。	職場全体で各クラスに対する人員配置を検討し、各自がより高い意識をもって仕事ができるよう職場内研修を行いたい。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		トイレ、ローカ等の寒暖に対応する努力はしている。段差にも気をつけている。	施設・設備が老朽化しているので、改善できるところからしていきたい。車椅子等での二階への移動が困難である。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		快適に過ごせるよう、活動の動線を考え、物の配置等工夫したり、環境整備に気を付けている。	施設・設備が老朽化しているので、改善できるところからしていきたい。玄関スペースのカーペットを改修したい。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		教室以外に、部屋を確保している。	できれば、もう1つ活動できる部屋が欲しい。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員会議・ケア会議(職員研修)、毎日のミーティングで振り返りを行って、情報を共有している。	定期的を実施している職員研修の質を高めたい。業務改善に向けての話し合いを数多く持つ。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		結果を共有し、改善に努めている。	保護者の意向を把握し、業務改善に繋げていきたい。保護者の方々のニーズを聞く場を提供している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日ミーティングを行い、1日の振り返りをしている。そこで出た意見を基に、業務の改善をしている。毎月の会議の中で、総括しながら次につなげている。	毎日のミーティングや会議で出た意見を基に、業務改善を図っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		実施は未定。	第三者による外部評価の実施を考えたい。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		都合のつく限り確保している。定期的に、会議の中で研修を行っている。	全職員が研修できる機会を増やす。研修の内容を充実させる。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		入園時や親子保育等を含めて、その都度保護者に説明している。	来年度から、内容を改善したプログラムで活動を進めていく。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		定期的に行っている。	職員同士の話し合いの場を積極的に設けている。定期的に、モニタリング会議を実施している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画の作成に関しては、全職員で事前資料を作成・検討しながら行っている。各書類は、全員目を通している。	作成後も、全職員で確認作業をする。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画の作成に関しては、全職員で事前資料を作成・検討しながら行っている。	計画に沿った支援ができていないか、定期的に検証している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		発達相談等で使用している。	発達相談等で使用している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		定期的に全員で見直しをしている。	職員同士の話し合いの場を積極的に設け、定期的に振り返りをしながら新しい支援内容を検討している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		定期的に全員で見直しをしている。	月1回のペースでプログラムの立案作成をしている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		日々の振り返りを大切にしながら固定化しないよう、アイデアを出しながら工夫している。	年度当初に、計画を立て内容を検討している。毎日のミーティングで、子どもの様子を見ながらより良い方向に変更している。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		できる限り状況に応じて作成している。	子どもの状況に応じた支援計画になるよう、日々様子を観察する。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日の反省など職朝で確認し報告している。	各自、役割分担や支援内容を確認している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		1日の終わりのミーティングで、本日の反省をし、次の日の予定について確認している。ミーティングに参加していない職員には、必ず回覧し確認している。	終わりのミーティングの内容を、より質の高いものになりたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日記録し、支援の検証・改善に繋げている。	支援の検証・改善をより一層充実させたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的実施している。	できるだけ短いサイクルで行えるように見直したい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		園長・主任を中心に参加している。	会議の内容について、できるだけ詳しく報告する。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		市町の保健師、小学校、保育所、支援学校、医師、相談支援専門員等と連携を密にしている。	保健師とは、随時連絡を取り合う。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所等訪問事業等で連携している。就園・就学、引き継ぎ、見え方相談、聞こえとことばの相談等。	就学や、転園希望する園児について、体験を行ったり引き継ぎ資料を作って様子を伝えている。連携はとれているが今後改善できるところはしていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保育所等訪問事業等で連携している。小学校や特別支援学校とも連携を密にしている。	就学や、転園希望する園児について、体験を行ったり引き継ぎ資料を作って様子を伝えている。連携はとれているが今後改善できるところはしていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		和歌山県障害児保育運動連絡会の定例会議に出席し、連携している。	和歌山県障害児保育運動連絡会の、職員研修の場を増やす。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		毎日の仕事に支障のない範囲で、研修に参加している。	興味関心のある研修を見つけ、参加できるようにしている。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		積極的に参加している。	会議の内容について、できるだけ詳しく報告する。
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の保育園との交流を積極的に行えるよう環境整備に努力している。	個別的な対応になっていた。全体としての交流には課題が残る。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡ノートに記入したり、個人面談も実施しながら、根気強く共通理解をはかっている。	定期的に保護者との交流の場を確保できる環境を整えたり、必要に応じて個人面談を実施する。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者学習会を開いている。	発達相談員や外部の有識者を招いて内容を充実させている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時、年度当初に行っている。	年度当初に時間を取り説明している。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		毎日の送迎時や親子保育等の機会を見つけ保護者の思いを聞き取っている。	来年度は、聞き取り以外の方法も考えていきたい。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個人面談を実施して同意を得ている。	個人面談を実施して同意を得ている。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	毎日交わす連絡ノートを通じて行っている。 個人面談や登園・降園時に話をしている	定期・不定期に個人面談を実施している。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	保護者会・研修会等の回数を増やしていきたい。	父親との交流が出来るよう考えていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	体制を整備し、適切に対応している。	申し入れがあれば、その都度個人面談等を実施している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	月1回の園だよりを発行している。行事ごとに保護者宛に文書を出している。	保護者から、行事ごとに感想や意見を伺っている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報に関する文書類については、鍵のかかるロッカーに保管している。	個人情報に関する文書類については、鍵のかかるロッカーに保管している。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	毎日の連絡ノートや、送迎時に情報交換をしている。	毎日の連絡ノートや、送迎時の情報交換を心がけている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	地域住民（サロンに来ている方）との交流や、ハロウィンでの地域交流をしている。	地域住民（サロンに来ている方）との交流や、ハロウィンでの地域交流をしているが十分とは言えない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	毎月、防災訓練（不審者含む）を実施し、その記録を残している。	マニュアルを作成し、防災訓練は月1回実施している。地震・津波発生時の対応についてより一層検討していきたい。保護者に対する説明も継続して行いたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	毎月、火災、地震、津波等いずれかを想定した訓練を行っている。	その都度検証し、より良い訓練ができるよう心がけている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	入園時に、対応方法や保護者の緊急連絡先等確認している。予防接種は、保護者から連絡をもらっている。	服薬がある場合、必ず手渡しするように伝えていく。予防接種の種類も確認している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	保護者の方と常に相談しながら対応している。	基本的には、除去食は提供していない。お弁当の持参をお願いしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	毎月、防災訓練（不審者含む）等を実施し、その記録を残している。	本年度から、感染対策委員会も設置され、会議の内容は職員会議等で周知している。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	保護者と一緒に防災・防犯訓練を行うこともある。	保護者と一緒に行う防災・防犯訓練を充実させたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	その都度、全員で共有し改善を図っている。	毎日のミーティングの中で情報を共有し、次に生かしている。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	研修の機会をできるだけ多くしている。	担当職員により、伝達研修を行っている。年1回以上行う。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	現状は、身体拘束を行わなければならないような子どもは在籍していない。	多動の子どもを危険から守るための対応について必要な時には、事業所における組織的決定を行い、身体拘束の様態及び時間、やむを得ない理由を利用児や保護者に説明し同意を得て個別の支援計画に記載し、関係者間で共有していくようにしたい。	